

## 枕崎市地域公共交通活性化協議会 令和5年度第2回会議 議事概要

令和5年9月4日（月）15時00分

Camping Office osoto Makurazaki

### 【出席者】

委員31名中26名の出席あり

### 【内容】

#### 1 開会

#### 2 会長あいさつ

枕崎市長よりあいさつ

#### 3 協議事項

##### (1) 委員の選任について

質疑なし、承認

##### (2) 金山地区の予約型乗合タクシーの運行について

質疑後、承認

(委員)①1回300円ということは、往復だと600円かかるということか。

②登録の見込みはどれくらいあるのか。

③一回あたり4人を超えた場合はどうなるのか。

④事業者との調整はできているのか。

⑤行政負担は出てくるのか。

(事務局)①往復は600円である。料金設定は、バス片道200円、利便性の向上から100円上乗せという形で考えている。

②説明会の状況から、登録者は22名程度を見込んでいる。

③利用状況聞き取りから、一回あたり4人を超えることはないと考えている。4人超えた場合については、事業者と調整を行う。

④運行事業者と打合せを行っている。

⑤運行費の概略は半期で約110万円。現在、金山線のバスへの補助金は年間約280万円。年間の運行費でも、現在より少ないか、同程度の負担となると見込んでいる。

(委員)予約が1人も入らなかったときの支援措置はあるのか。

(事務局)予約が入らなかった場合は運行しないため、借上げ料金はかからない。

(委員) それでは、事業的に成り立たなくなってくるのではないかと。正常的、規則的な運行ができなくなるのでは。

(事務局) 事業者と調整済である。

(委員) 坊方面の路線バスの沿線に住んでいるが、乗降がなかなかない。将来的な見通しはどうなっているのか。

(委員) しばらくは維持されるが、便数はだいぶ減る。

(委員) 事前登録の受付はどこで行うのか。

(事務局) 事務局で行う。

(委員) 市役所へ出てくるのはハードルが高いので、説明会で地域に出向いた際に受け付けてはどうか。

日報について、一人につき運賃を記載することができるのか。運転手の負担ではないか。

(委員) 現在事務局と協議中である。記録についてはできないことはないが、運転手の負担は増えると考えている。調整は進めている。

(委員) 南さつま市へ路線がくいこんでいるが、南さつま市と調整は行っているのか。

(事務局) 南さつま市へは乗り入れないと考えている。南さつま市と、該当地域はコミュニティバスが走っているため、問題ないとのことで協議を行っている。

### (3) 予算の充用について

質疑後、承認

(委員) (2)で説明のあった運行費と予算額に2万円ほど差があるのはなぜか。

(事務局) 以前、路線バスの乗込み調査費として、2万円ほど予算が計上してあった。

### (4) その他

○意見は特になし

## 4 報告

### (1) 空港バスの時刻変更について

(委員) 変更後の最終便は、時間通りに出発するのか。柔軟性をあつたほうが良いのでは。

(委員) 鹿児島市行は、最終バスが出た後は空港へとどまらなければならないため、柔軟性をもたせているが、そのほかの便は定刻通りの出発とする。運転手不足等から、要望に応えられない。

(事務局) 今回の見直しで、最終便は19時が良いのではという意見もあるなか、引き伸ばせる最大の時間まで伸ばしていただいた際の最終便19時15分となっている。

(委員) 19時15分に乗れなかった場合、鹿児島中央駅へ行く方法はあるのか。

(委員) 鹿児島市内へ行く便は、19時15分以降も10本ほどはある。鹿児島市内へは行

ける。枕崎への最終便は出てしまっている。バスの時刻から逆算して鹿児島へ返ってくる飛行機に乗るようにしていただけたら。

## 5 その他

(委員) 商工会議所の青年部、女性会で JR を利用した。参加者は 20 名ほど。小さなことであるが、これからも利用促進も考えて実施していきたいとのことだった。

(事務局) 現在、南溟館で果ての鉄道展が開催中である。委員へも足を運んでほしい。JR に関して、県の事業で、乗車券にクーポン券がつくもの、列車に乗って謎解きしようというものがある。

(委員) 今年度で JR 指宿枕崎線は全線開通 60 周年である。しかるべきときに情報をだして、案内していきたいと思っている。

(事務局) 事務連絡

## 6 閉会